

## 平成29年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」のポイント

平成30年2月にスポーツ庁は、平成29年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」を公表しました。調査結果のポイントを紹介します。

### 1. スポーツの実施率について

「成人のスポーツ実施率の推移」をみると、週1日以上運動・スポーツをする人の割合は、20歳以上男女の平均で51.5%（前年度から9ポイント増）（図表1）。

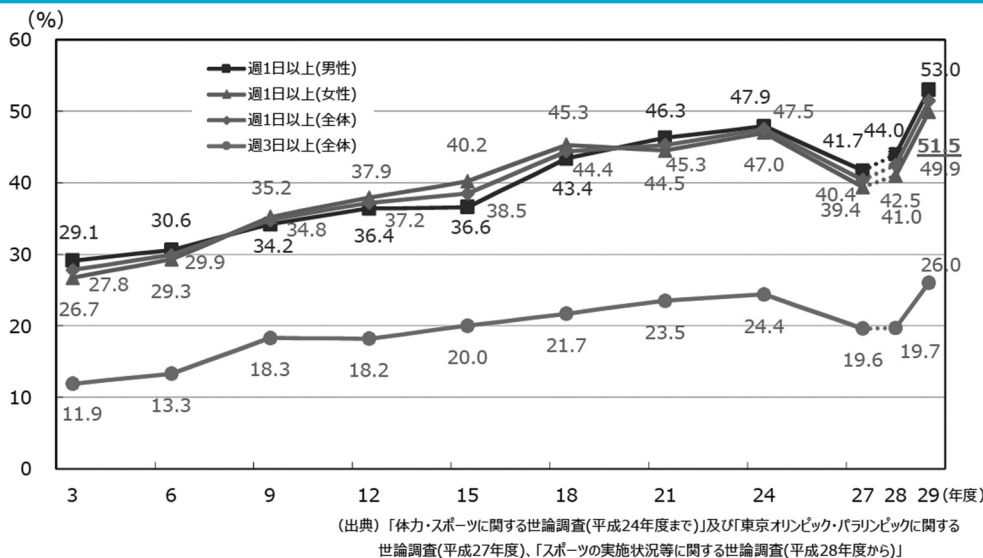
「世代別週1日以上スポーツ実施率の比較」をみると全体では、40代を底に50代から再び上昇している。男女別では、男性50代、女性40代が最も低くなっており、女性40代は全世代の中でも最も低い。全世代の中で、男女とも70代が最も高く70%を超える（図表2）。

また、10代～40代においては前年度より10ポイントを超える伸びを示し、特に女性の20代は17.6ポイント増となった（図表不掲載）。

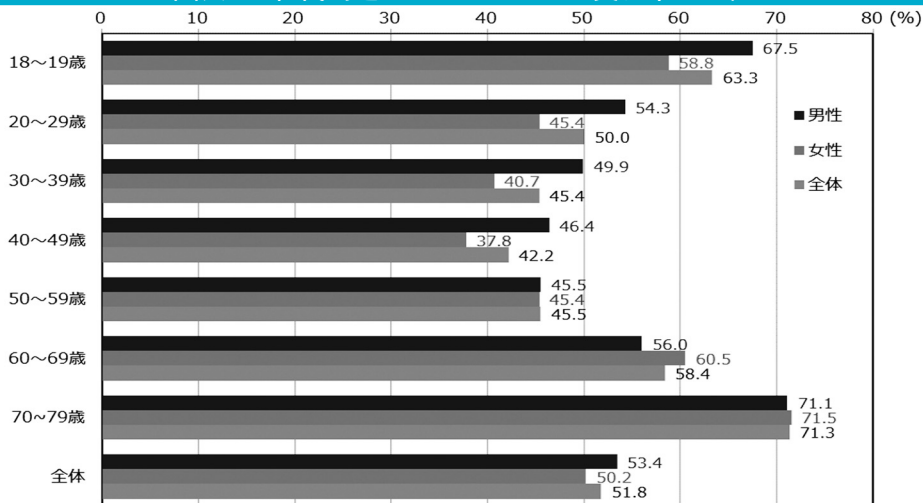
### 2. 運動不足に対する考え方

運動不足を「感じる」（「大いに感じる」＋「ある程度感じる」）とする割合は79.5%（前年度77.0%）。運動不足を「感じない」（「あまり感じない」＋「ほとんど（全く）感じない」）とする割合は18.7%（前年度20.8%）（図表不掲載）。

図表1 成人のスポーツ実施率の推移



図表2 世代別週1日以上スポーツ実施率の比較



男女別に見ると、運動不足を「感じる」とする割合は女性が男性より高くなっている。年代別に見ると、20代～50代で運動不足を「感じる」とする割合が高く、60代、70代は低い（図表不掲載）。

### 3. この1年間に実施した運動、スポーツについて

#### （1）実施した種目について

この1年間に実施した種目については「ウォーキング」がトップで57.0%、「階段昇降」13.3%、「トレーニング」12.9%が続いている。

男性は「ウォーキング」56.8%、「ランニング」17.3%、「トレーニング」15.0%の順で割合が高い。

女性は「ウォーキング」57.2%、「体操」15.1%、「階段昇降」11.8%の順で割合が高い。

#### （2）1年前と比べて運動・スポーツを実施する頻度について

「1年前と比べて運動・スポーツを実施する頻度は増えた」と答えた者が19.1%。20代男性が28.0%、20代女性が26.1%と20代男女で「増えた」と答えた割合が高かった。

「1年前と比べて運動・スポーツを実施する頻度は増えた」と答えた者の77.7%が「ウォーキング」を実施している（図表不掲載）。

### 4. 実施状況の変化とその要因について

#### （1）この1年間に運動・スポーツを実施した理由

「健康のため」が75.2%と最も高く、「体力増進・維持のため」「楽しみ、気晴らしとして」が続いている。

#### （2）運動・スポーツの実施頻度が減ったまたは増やせない理由

「仕事や家事が忙しいから」が39.9%で最も高く「面倒くさいから」「年を取ったから」が続いている。男性20代～40代と女性20代、30代の働く世代では「仕事や家事が忙しいから」は50%を上回っている。「子どもに手がかかるから」は女性20代19.0%、女性30代32.0%と各々3番目に高い割合となっている。

#### （3）運動・スポーツの現在の実施状況と今後の予定について

「この1年間に運動やスポーツはしなかった」

かつ「現在運動・スポーツはしておらず、今後もしないつもりがない」と答えた者が20.7%（前年度から6.5ポイント減）となっている（図表不掲載）。

### 5. スポーツを「みる」「ささえる」

#### （1）この1年間に観戦したスポーツについて

直接観戦した種目は「プロ野球」14.3%「高校野球」4.9%「Jリーグ」4.7%の順である。TV・インターネットでの観戦は男性が「プロ野球」52.5%、女性は「フィギュアスケート、スピードスケート、アイスホッケー」32.2%が最も高い。

#### （2）この1年間に行ったスポーツに関するボランティアについて

スポーツに関するボランティアに参加した割合は10.6%（前年度6.1%）。うち日常的・定期的に行っている者は3.8%（前年度2.2%）。スポーツ実施頻度が高い層ほど参加率は高い。ボランティアの内容は「大会・イベントの運営や世話」が27.6%で最も高く、「運動・スポーツの指導」「スポーツクラブ・団体の運営や世話」が続いている（図表不掲載）。

### 6. スポーツの価値

運動・スポーツに関して、「大切」「まあ大切」としている者は、全体の66.4%。運動・スポーツに対する価値は、日常的に運動している者ほど強く感じている。スポーツが個人や社会にもたらす効果は、「健康・体力の保持増進」と感じている者が71.0%と非常に高い（図表不掲載）。

---

スポーツ実施率は上昇傾向にあり、週1日以上運動・スポーツをする成人の割合は50%を超えました。特に60代、70代が男女とも50%を上回っています。今後、スポーツ庁が目標に掲げる、週1日以上成人のスポーツ実施率が65%を上回るよう、60、70代だけでなく、特に40代、50代についても、健康・体力の保持増進を図るべく、運動・スポーツをする時間を少しずつでも作っていく必要があるといえます。（中井正人）